

第28回 グリムの おはなしフェスト



2025年6月1日(日) 9:30~14:00
会場/グリムの森「グリムの館」

入場
無料

9:30 野ばら幼稚園のみなさんの発表

10:00 OHP 影絵「森の家」 他

石橋おはなし会

10:40 人形劇「りゅうになりたかったへび」 他

おはなしポケットの会

11:20 語り「こびとのくつや」 他

民話語り部の会「ゆうがお」

13:00 講座「親子で楽しむ絵本時間」

絵本専門士 永野みどり氏

◆事前申込みは不要です ◆お気軽にご参加ください

◆イベント内容は予定です。
◆内容や時間など変更になることがあります。

【協力】NPO 法人 絵本文化推進協会

【主催・問合せ】一般財団法人グリムの里いしばし (下野市下古山 747)

TEL 0285-52-1180 <https://www.grimm-no.net/>

キッチンカーも
出店します!



◆◆◆出演団体紹介◆◆◆

「グリムのおはなしフェスト」は、大人も子どもも、絵本や昔話に親しみ、心に優しさをもってもらうためのイベントです。市内の読み聞かせグループの協力で、語りや人形劇、OHP 影絵など、いろいろな手法で物語をお楽しみください。



石橋おはなし会

石橋図書館で読み聞かせを行っています

第1・3 土曜日 10:30～

絵本の読み聞かせ、折り紙、工作など

第3 月曜日 10:30～

小さいおはなし会（乳幼児対象）

※パパ、ママも楽しめます



みんなわかたべかい
民話語り部の会「ゆうがお」

たぬきのえりまき

こびとのくつや

かつぱと彦助

ねずみのすもう

「ゆうがお」は、小学校や地域のサロンなどで、地域の伝説や昔ばなしを語っています。
ホームページ <https://yuugao-minwa.jimdofree.com>

講座「親子で楽しむ絵本時間」

講師／永野みどり さん

絵本の読み聞かせは、お子さまの言語発達や想像力の育成に効果があると言われています。今回の講座ではお子さまの年齢別の絵本の選び方や、家庭での読み聞かせの注意点などを専門家がわかりやすくお話しします。

[講師プロフィール]

東京都出身。4歳よりピアノを始める。

東京都立日比谷高等学校、国立音楽大学音楽教育学科リトミック専修卒業後、成城学園初等学校音楽科教諭。

2012年より宇都宮文星女子高等学校勤務。

小学校での読書ボランティアや「絵本専門士のたのしいおはなし会」等、読み聞かせの活動も行っている。



「グリム」とは？

この森や建物の名前にもなっている「グリム」とは「グリム童話」「グリム兄弟」の「グリム」です。「グリム兄弟」は1800年代に活躍した政治家であり、学者であり、文学者であった兄弟のことを指しています。兄のヤーコブは1785年1月4日、弟のヴィルヘルムは翌年2月24日にドイツのヘッセン州ハーナウに生まれました。ふたりは、早くに亡くなった父親の代わりに弟妹たちを支えながら、立派な業績を残しました。

グリム兄弟は、ドイツの伝承昔話を後世に残そうと、身近な女性たちから昔話を聞き、それを文章にしました。その時の題名は「Kinder- und Hausmärchen」といい、日本では「子どもと家族のための童話」と訳されています。1812年に初版が発行された時は156話だったこの本は、版を重ね、最後の第7版(1857年)では200話に達しました。これらのお話は、今でも「グリム童話」として世界各地に広まっています。「グリム童話」には、「赤ずきん」「白雪姫」「ラプンツェル」など、皆さんも知っているお話がたくさんあります。グリムの館の図書コーナーには、日本で発売されたグリム童話の絵本のほかに、ドイツ、アメリカ、フランスなど、他の国で発売された書籍も、自由にご覧いただくことができます。

なぜ石橋町（下野市）が「グリム」なの？

石橋町は昭和41（1966）年、グリム兄弟が生まれ活躍したドイツのヘッセン州にある、シュタインブリュッケン村の児童と、絵画や習字などの作品交換を始めました。「シュタイン＝石」「ブリュッケン＝橋」を意味するこの村は、同じ「石橋」という名前なのです。昭和50（1975）年には姉妹都市の盟約を結び、以来交流を続けてきました。現在、シュタインブリュッケンは周辺の3村と合併し「ディーツヘルツタール」の一部に、石橋町も合併して「下野市」となりましたが、下野市とディーツヘルツタールは姉妹都市として、変わらず交流を続けています。

